

2016年12月期 第2四半期決算説明会

ヘルムマスター搭載
SR320FB



ヤマハ発動機株式会社
2016年8月4日
(証券コード:7272)

本日も説明する内容

2016年12月期 第2四半期決算

代表取締役社長 柳 弘之

● 業績予想について

この説明資料内で述べられているヤマハ発動機株式会社の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、様々な要因の変化により大きく異なることがありえますことをご承知おき下さい。実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、主要市場における経済状況及び製品需要の変動、為替相場の変動等が含まれます。

経営業績：上期実績

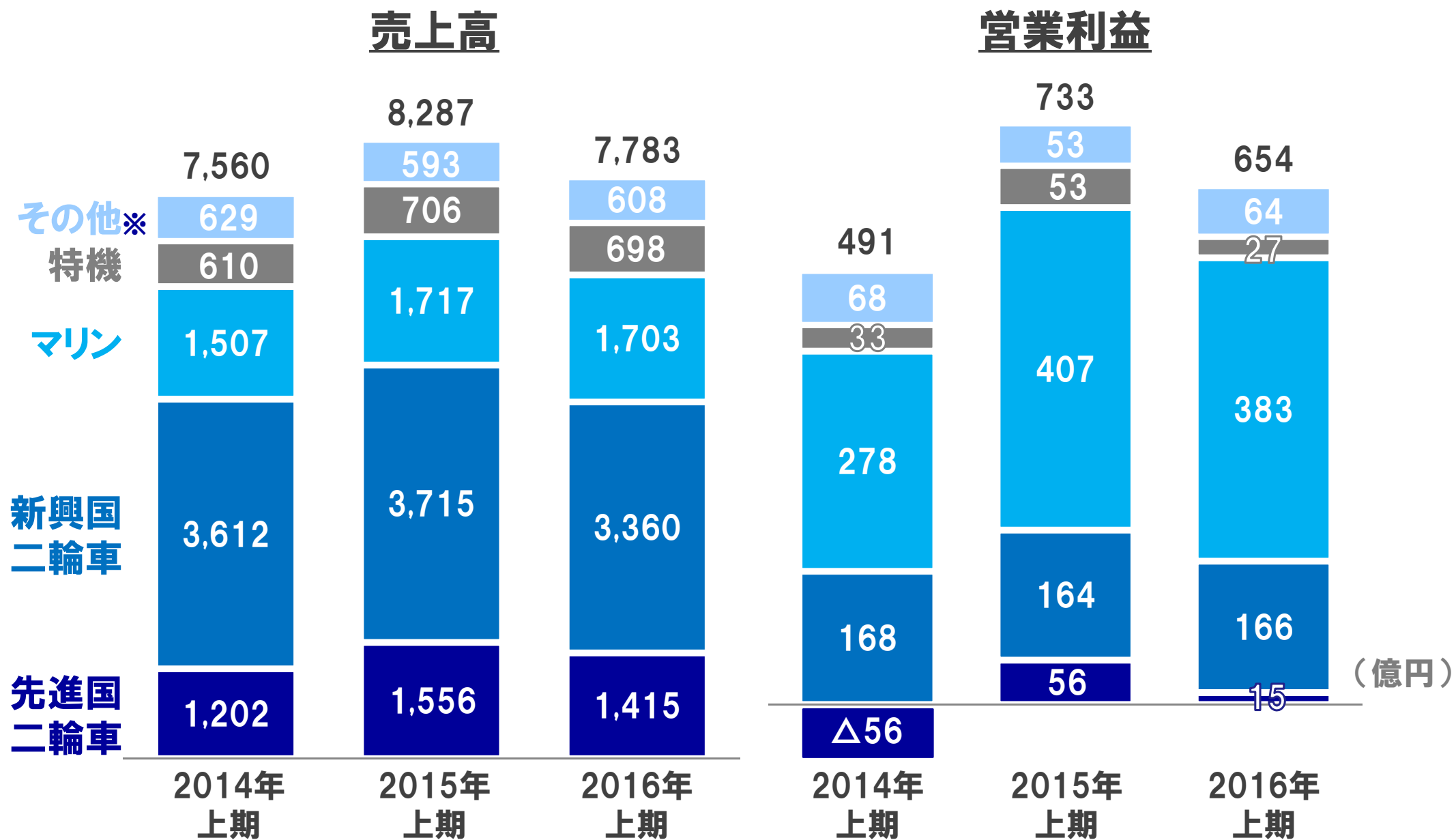
- 売上高：実質増収ながら、為替影響を受ける
- 営業利益：新興国二輪車事業は規模減少・為替影響を吸収して微増、先進国事業は為替影響により減益、その他開発費用(成長戦略)等増加
- 当期純利益：営業利益の減少及び為替差損等により減益

(億円)	2015年 ※1	2016年	前年比
売上高	8,287	7,783	94%
営業利益	733	654	89%
営業利益率	8.8%	8.4%	△0.4pts.
経常利益	744	553	74%
当期純利益 ※2	521	324	62%
(\$・€)	120・134	112・125	—
(\$/IDR・BR\$)	12,908・3.0	13,377・3.7	—

※1 前年実績：販売金融組替え後

※2 親会社株主に帰属する四半期純利益

経営業績：上期実績（事業別）



※ その他：産業用機械・ロボット含む

営業利益変動要因：上期実績

- 新興国：収益性改善進み、規模減少・為替影響等を吸収する
- 先進国：収益性改善進むが、為替影響を受ける

新興国二輪車
166億円（前年比 +2億円）

先進国事業等
525億円（前年比 △44億円）

営業利益
(億円)

収益性

規模

経費

為替

収益性

経費

為替

成長戦略

当期利益
(億円)

733

159

△43

△14

△100

101

△30

△115

△37

654

324

2015年

(\$/€: 120/134)

2016年

(112/125)

経営業績：年間予想

(億円)	2015年 実績 ※1	2016年 修正予想	前年比	2016年 期初予想
売上高	16,312	15,000	92%	17,000
営業利益	1,303	1,050	81%	1,200
営業利益率	8.0%	7.0%	△1.0pts.	7.1%
経常利益	1,252	950	76%	1,250
当期純利益 ※2	600	600	100%	800
EPS / 配当 (円)	172/44	172/60	—	229/70
ROE	12.6%	12.6%	—	15.0%
(\$・€)	121・134	(年間)106・117 (下期)100・110	—	117・127

※1 前年実績：販売金融組替え後

※2 親会社株主に帰属する当期純利益

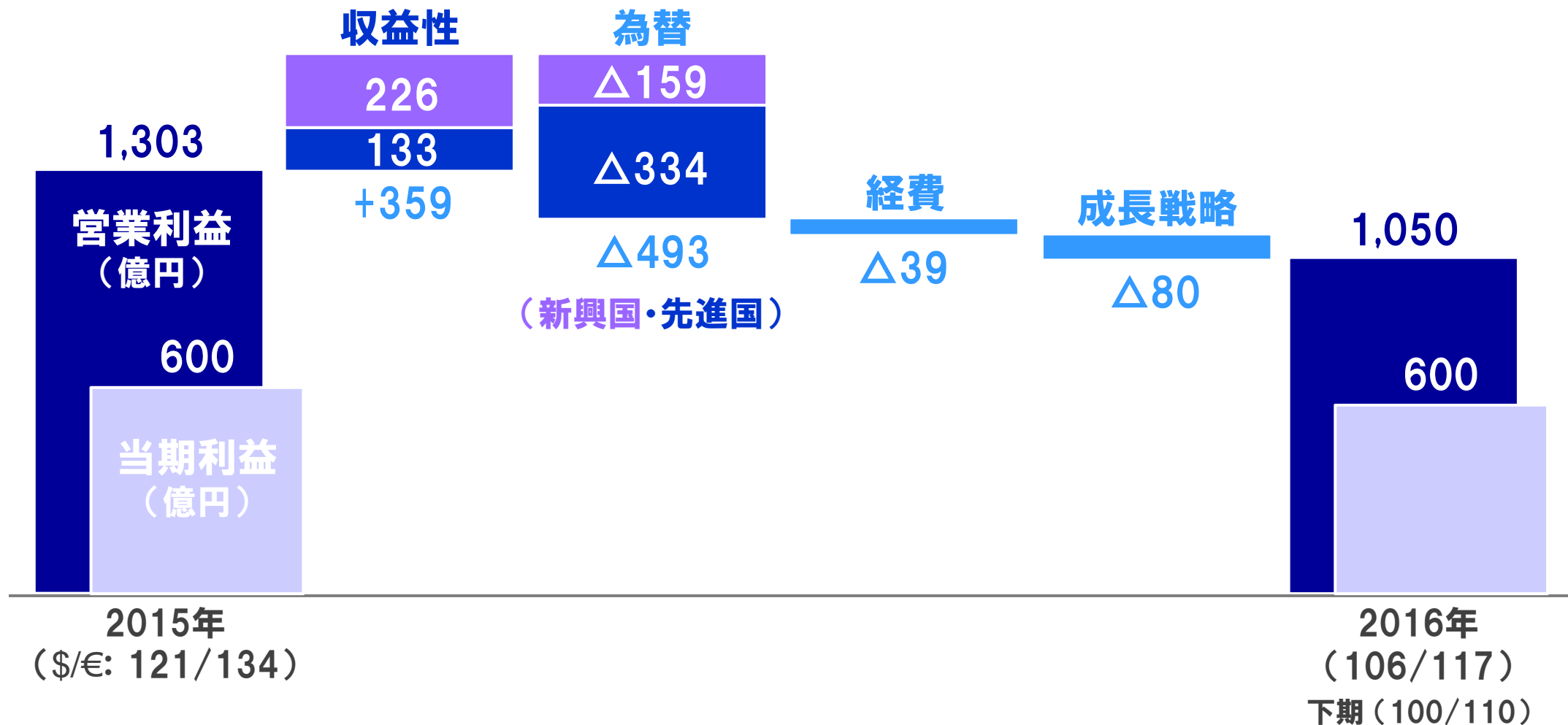
営業利益変動要因：年間予想

■下期は、100・110円を前提に安定的利益を確保する

■来期は、更に収益性改善を続ける

新興国：為替影響好転、新商品投入・コストダウン・一部市場での販売増加等

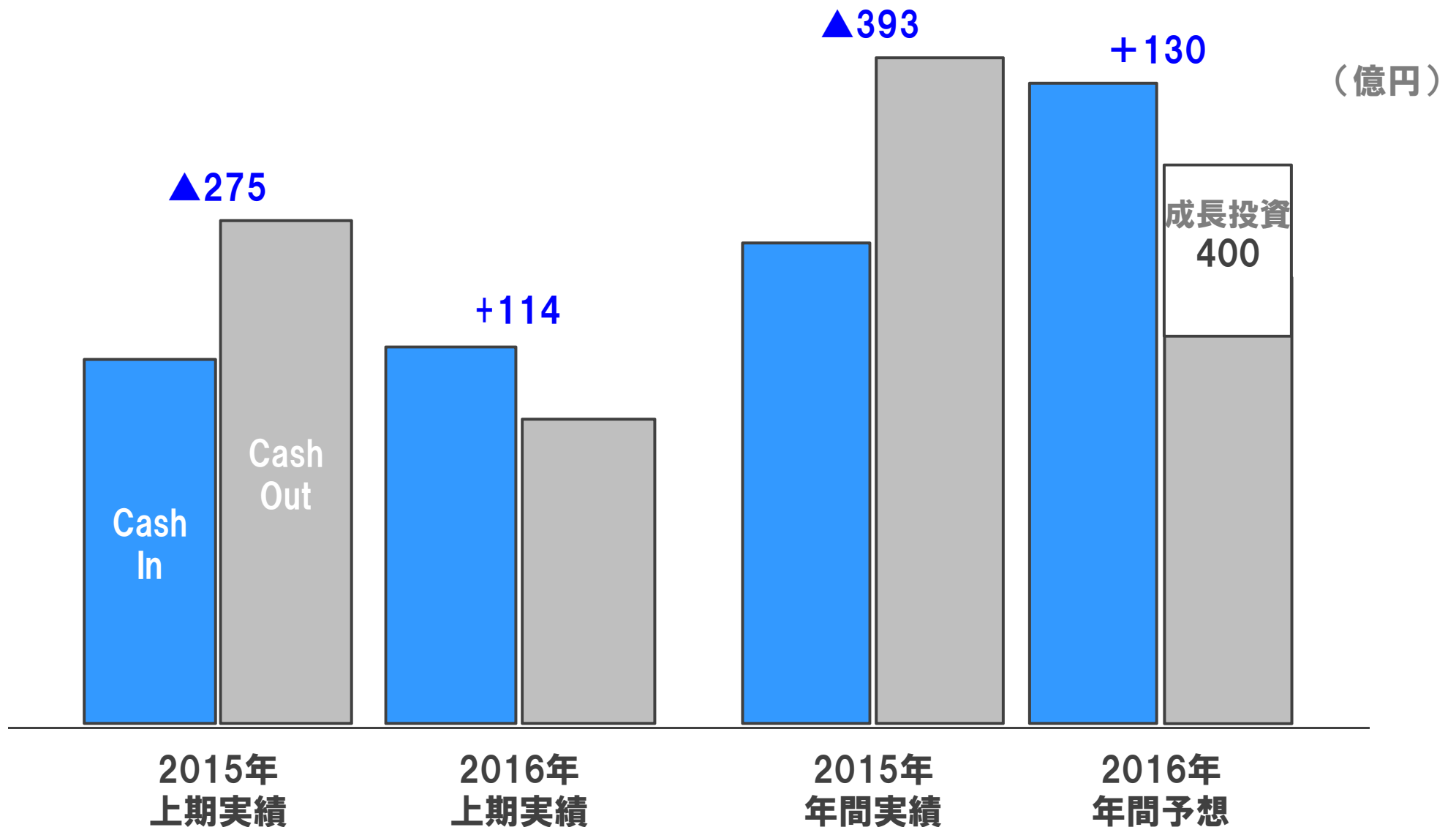
先進国：為替影響安定、新商品投入・在庫調整完了による販売増加等



キャッシュフロー（販売金融除く）

キャッシュフロー黒字化

■安定的利益を確保、運転資金を改善して、配当・成長投資を増やす



新興国二輪車事業：アセアン

好調なベトナム・フィリピン・タイ市場（109%）で販売増加（121%）、
回復待ちのインドネシア市場（84%）で販売減少する（78%）
■商品ミックス・プラットフォーム効果により、各市場で収益性改善続く

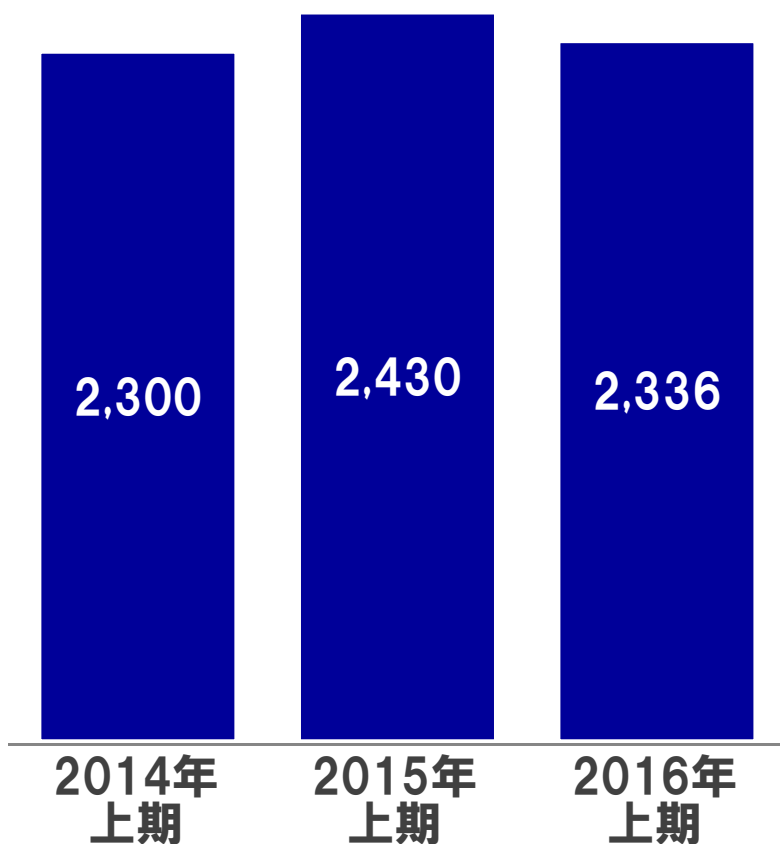
出荷台数
(万台)

187	151	143
-----	-----	-----

営業利益率

2.8%	4.3%	7.8%
------	------	------

売上高
(億円)



NMAX
水冷155CC ATプラットフォーム
グローバル通勤ター



M-SLAZ
水冷150CC STプラットフォーム
アセアンスポーツ

新興国二輪車事業：アセアン商品戦略

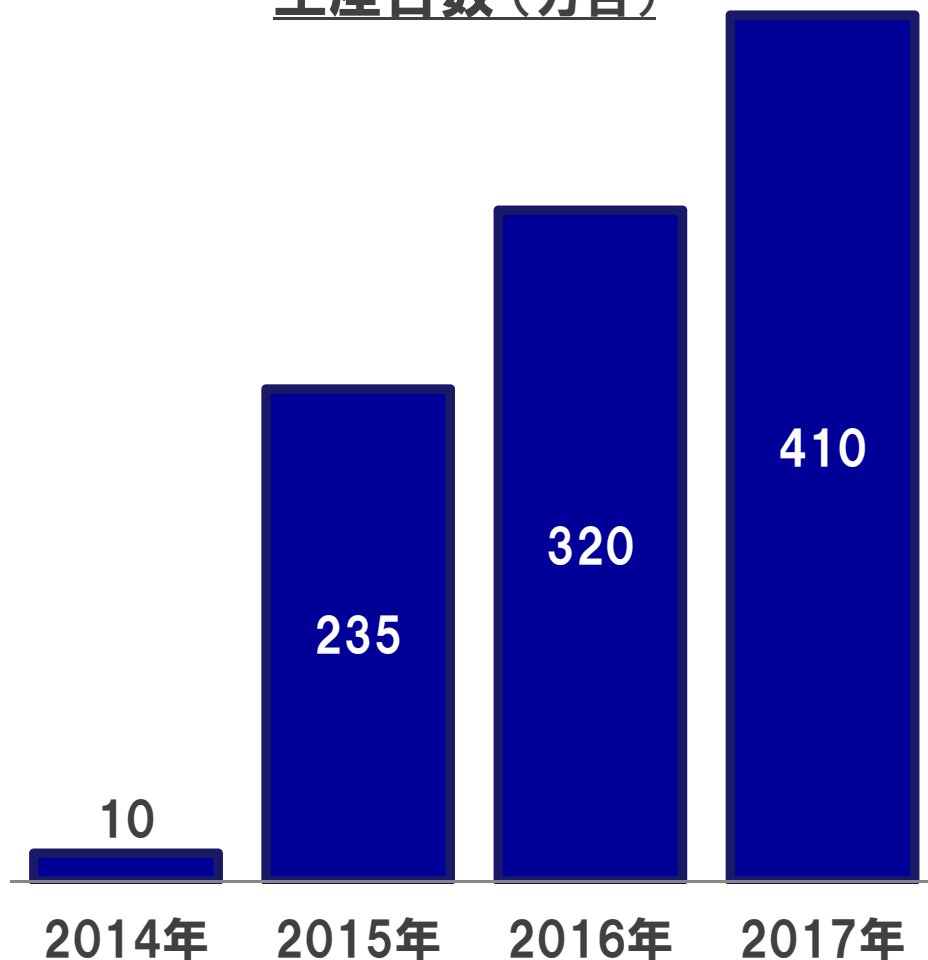
「モノ創り」の変革進む

■プラットフォーム（素の良い）へ集約進む

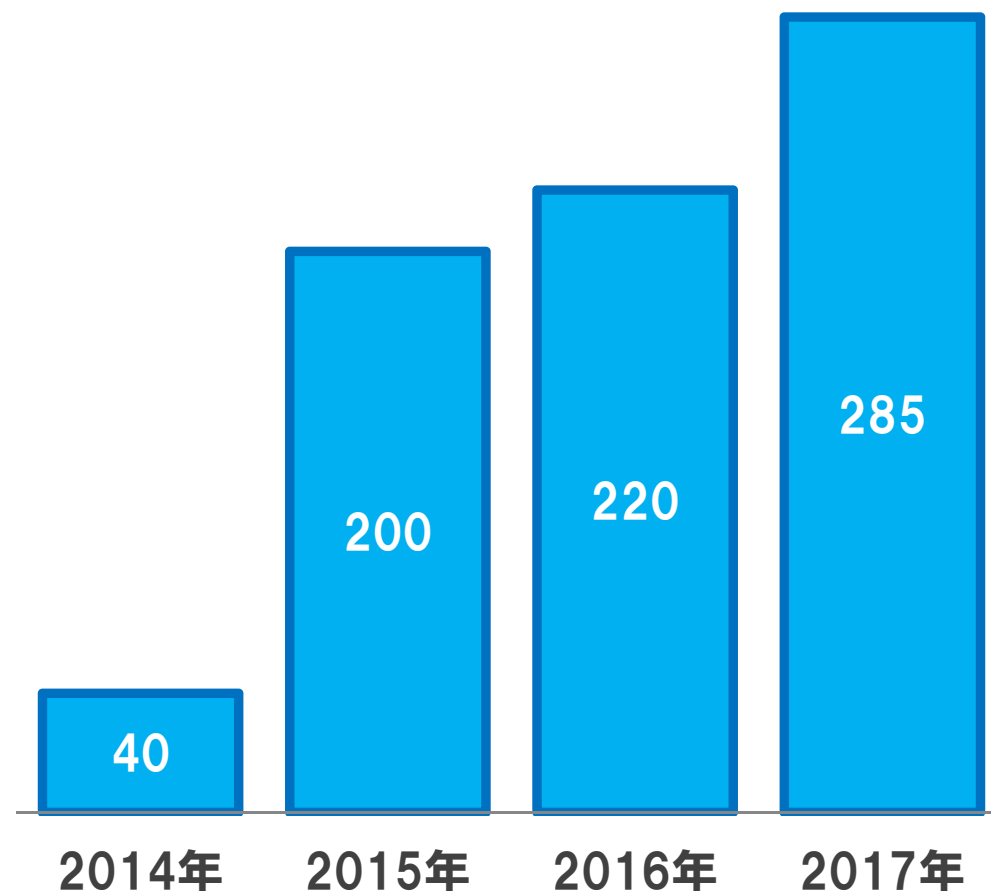
■プラットフォームから旬のアセアンモデルへ、更にグローバルモデルへ



プラットフォームモデル
生産台数（万台）



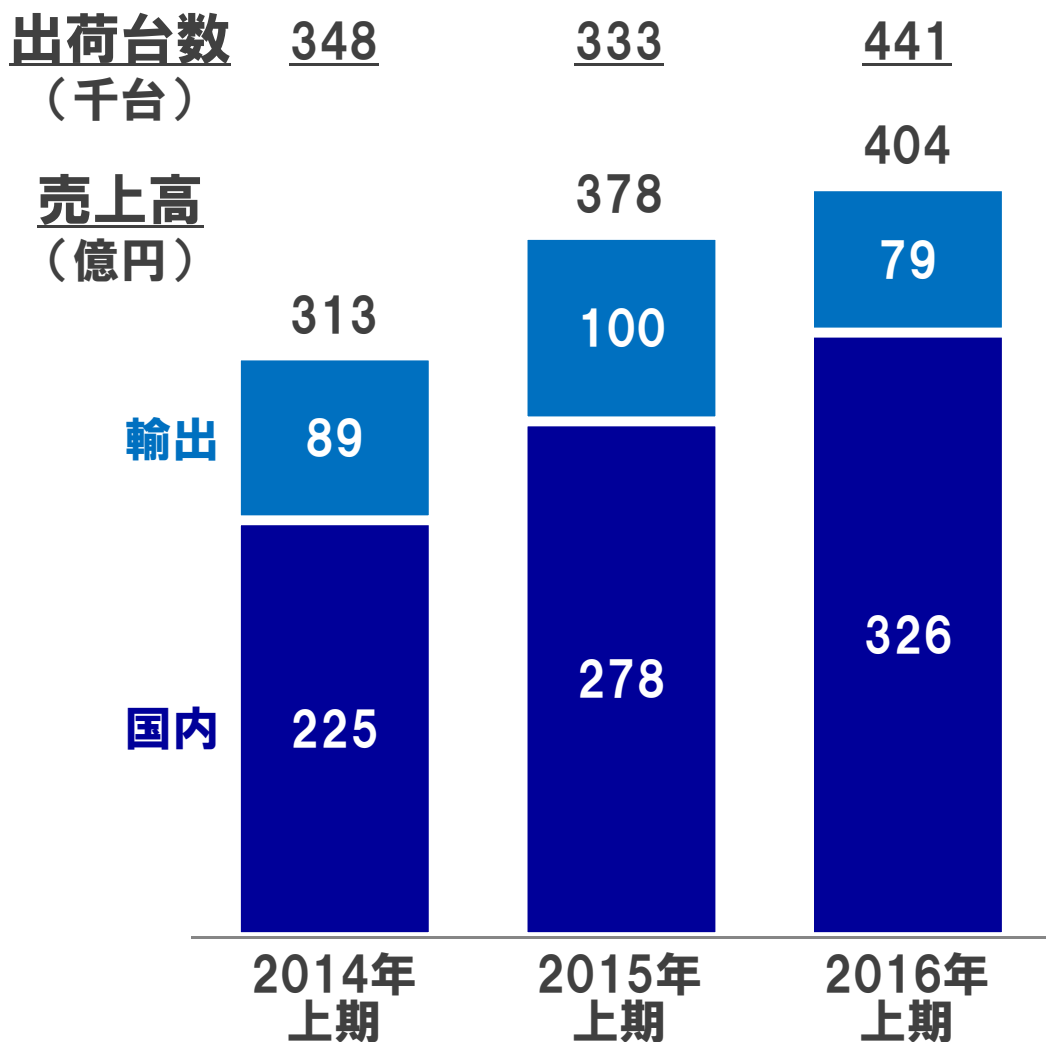
グローバルモデル
生産台数（千台）



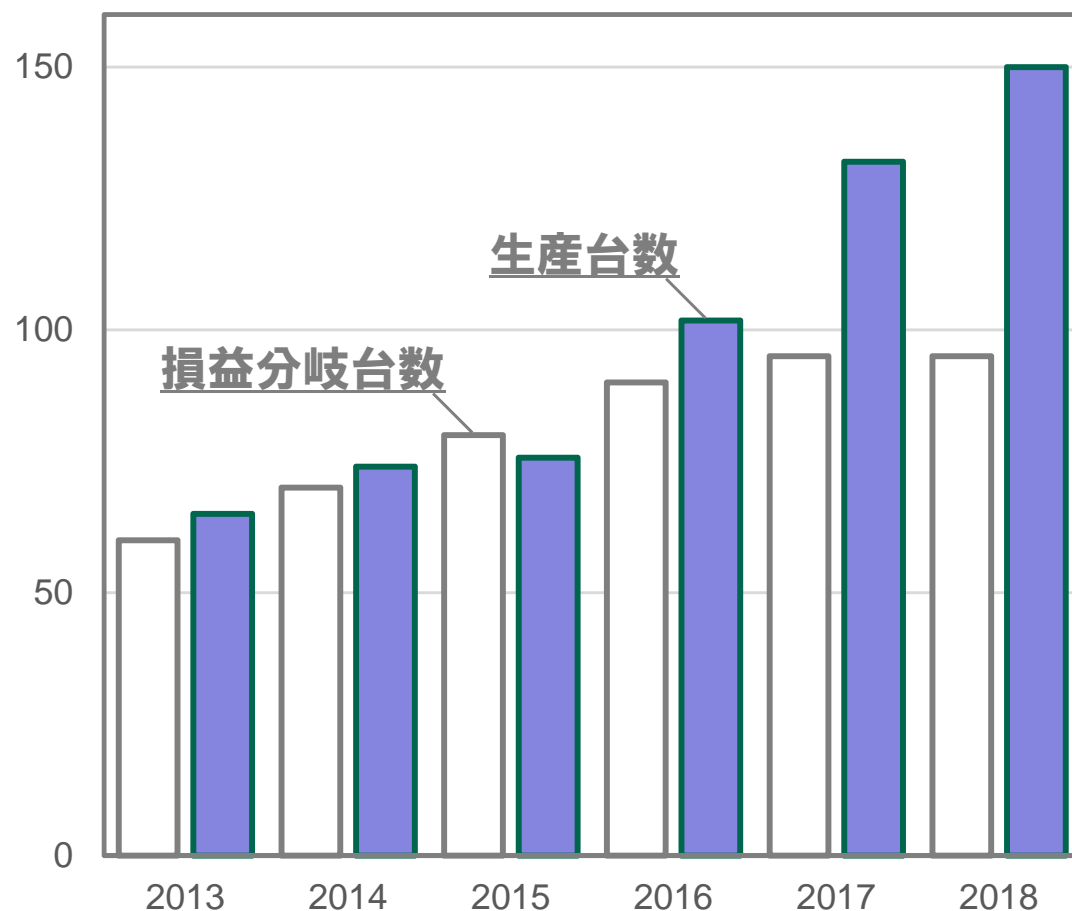
新興国二輪車事業：インド

好調な市場（111%）で、大幅に販売増加（143%）する

- 都市部（スポーツ・スクーター領域）から、地方部（マス領域）攻略へ
- 北部＋南部生産体制確立により、コストダウン・事業効率改善進む



事業規模・収益力の推移(万台)

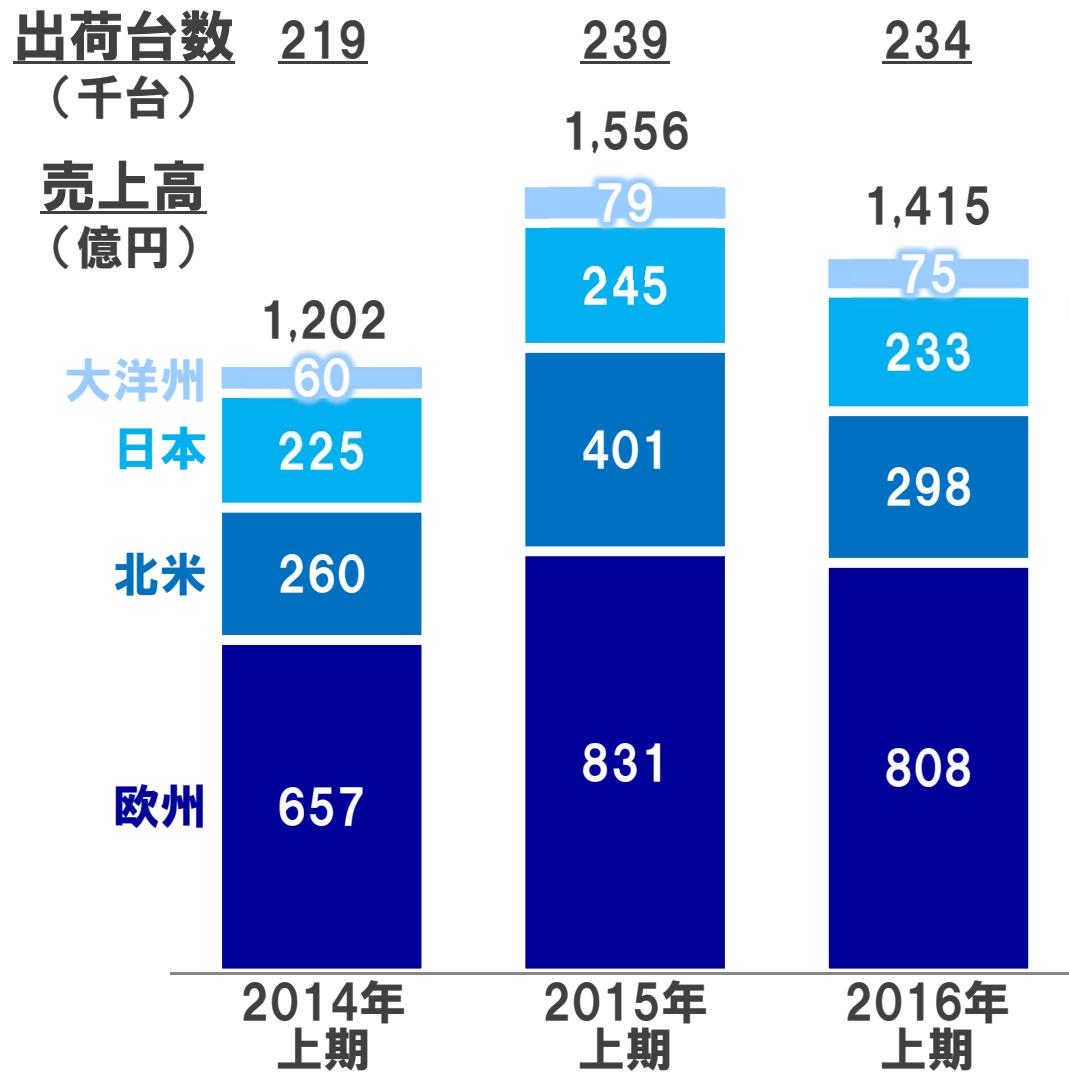


先進国事業：二輪車

安定感ある市場（100％）で、高いプレゼンスを発揮する（105％）

■各モデルブランドで商品ラインが充実・拡大する

■米国での在庫圧縮・金融ビジネス進む



R レーシング・テクノロジー



YZ オフロード・スポーツ



MT 人機官能



MAX スポーツ・通勤ター



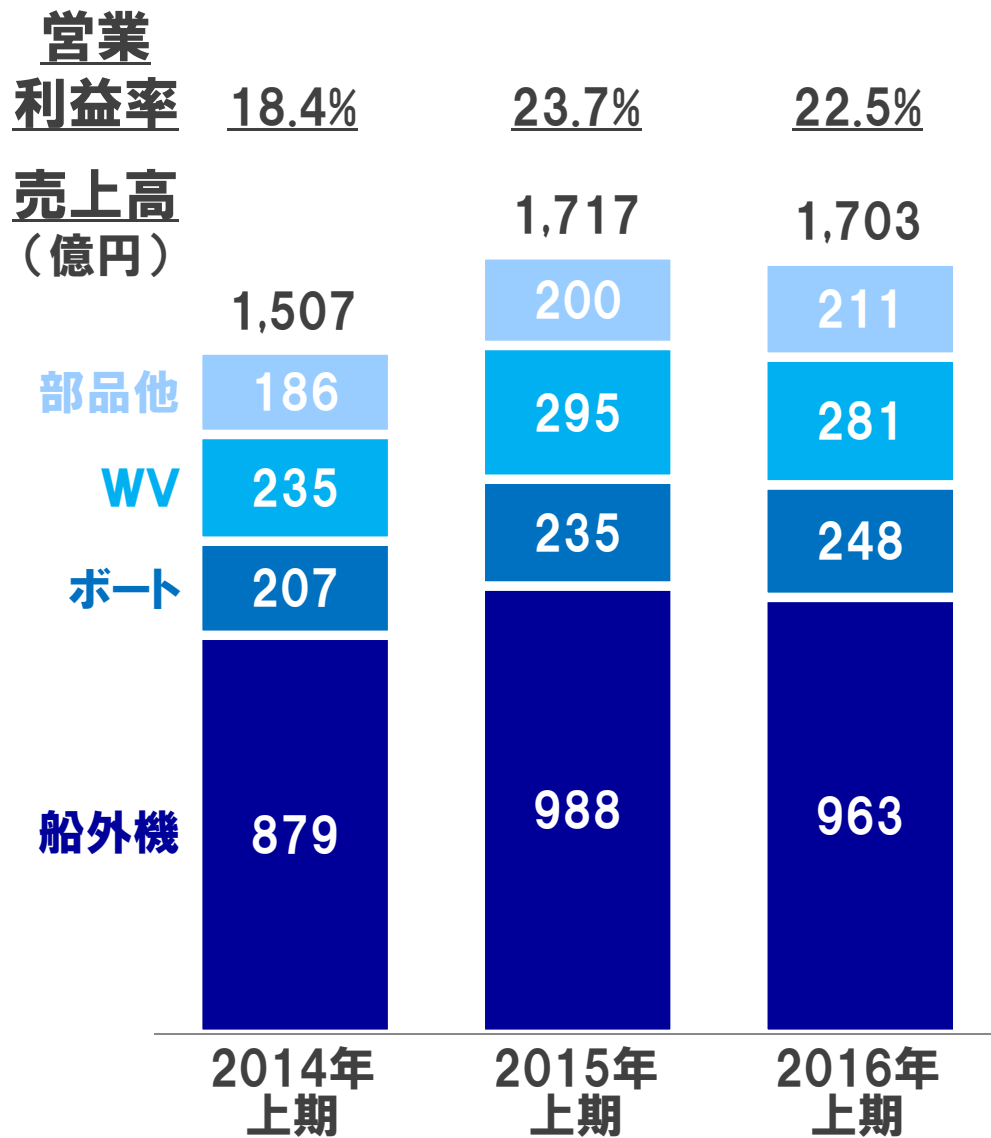
LMW 第3の移動体

先進国事業：マリン事業

安定感ある北米・欧州市場で、販売増加する（105%）

■大型エンジンの販売増加続く（北米110%・欧州113%）

■システムサプライヤーへのビジネスモデルづくりを進める

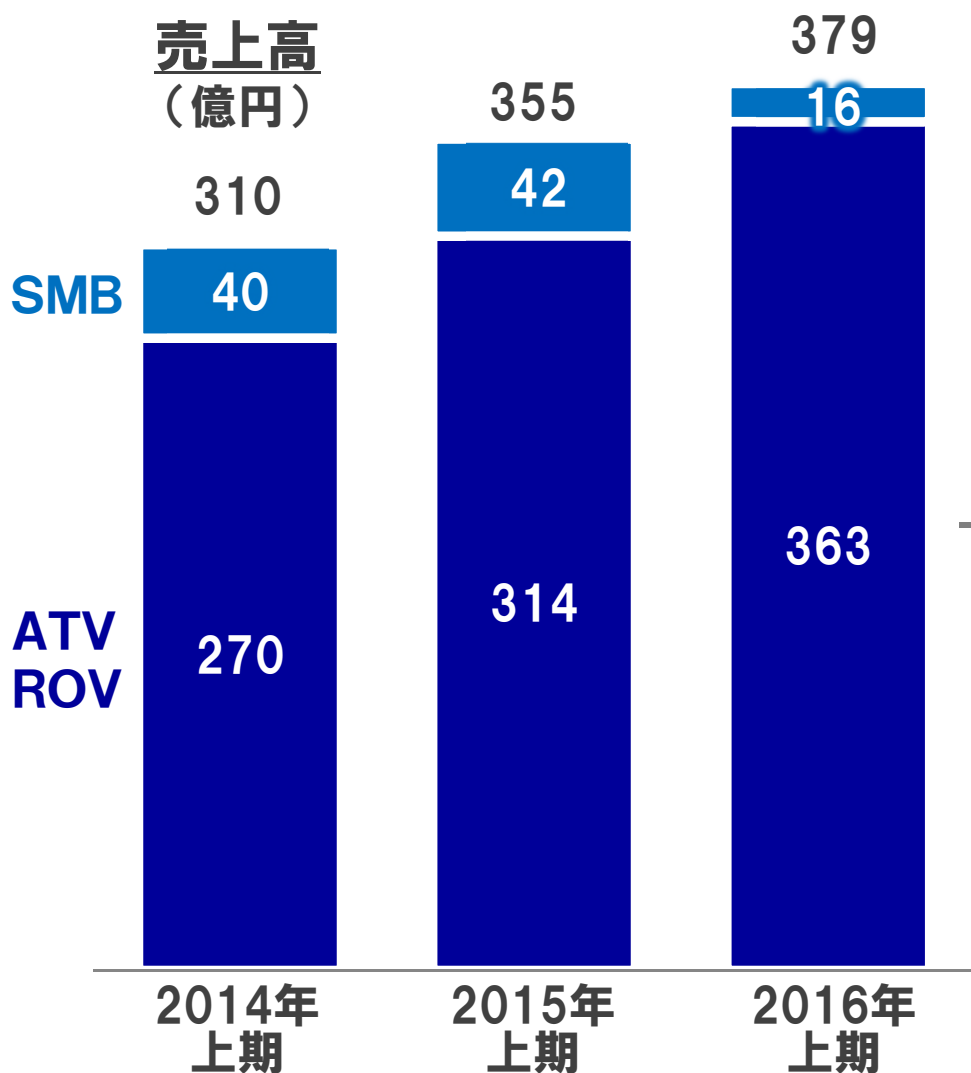


艇体＋船外機＋制御技術＋更なる技術の広がり
ヤマハマリンの方向性を象徴する

先進国事業：RV

安定感ある北米のROV市場(105%)で、プレゼンス高まる(141%)

■多目的・リクレーション領域を固め、スポーツ領域を強くする



成長戦略：米国アグリ市場へ

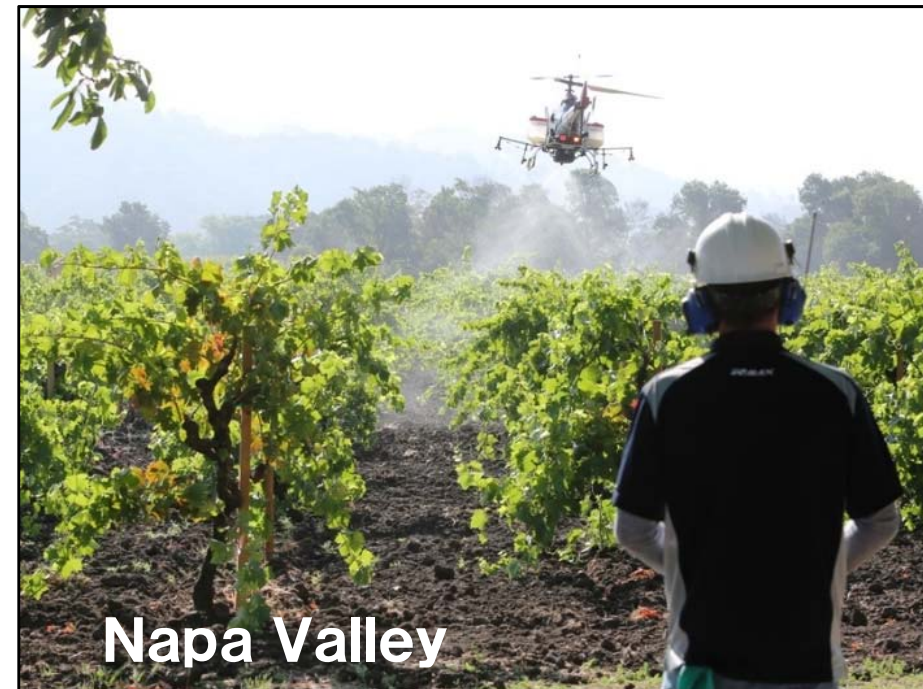
ROV (Recreational Off-Highway Vehicle)

ヤンマー社提携、製品開発・供給を開始(2016年12月):
アグリ・ユーティリティ市場へ新しい価値を提供する



UMS (Un-Manned System)

カリフォルニア・ワイナリー市場で
農薬散布ビジネス開始:
高効率ソリューションを提供する

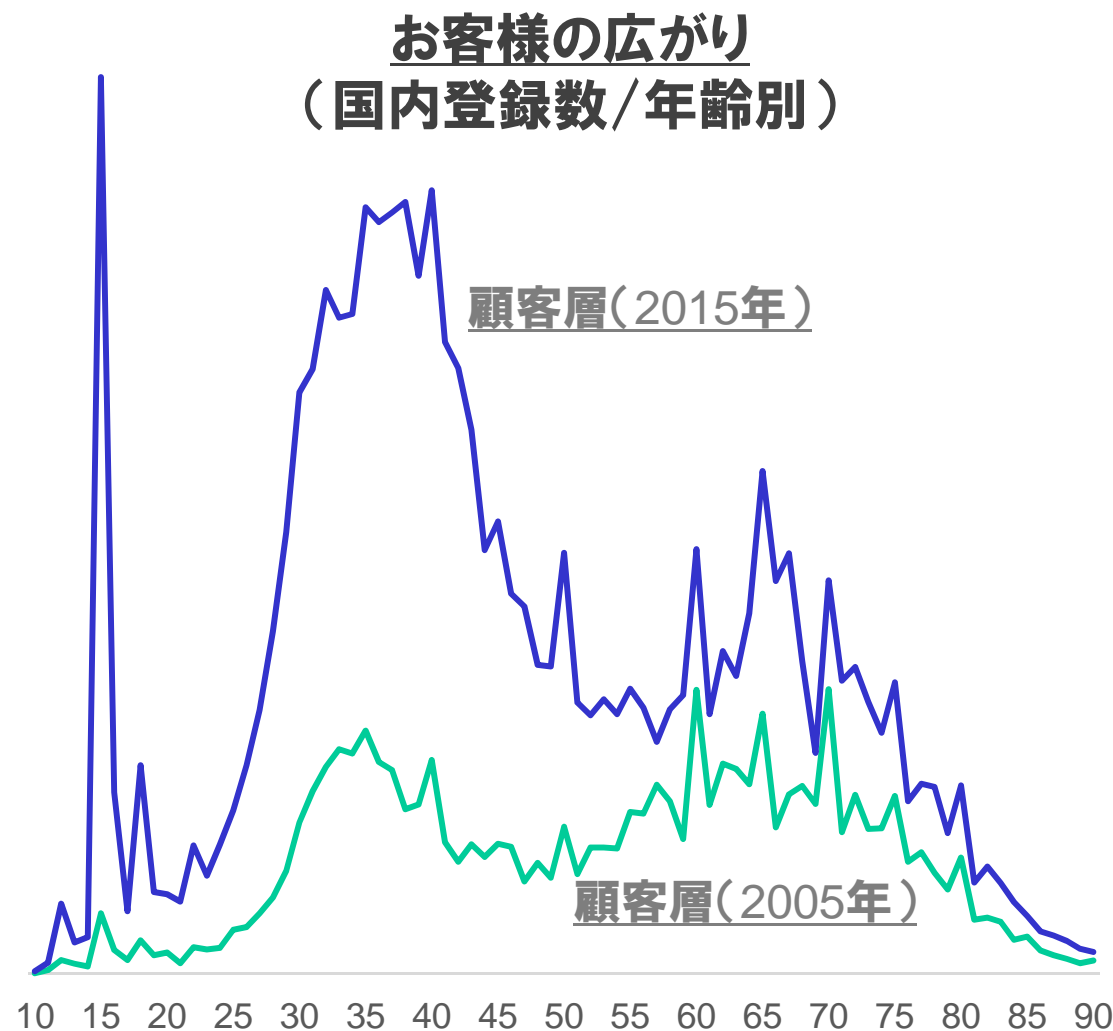
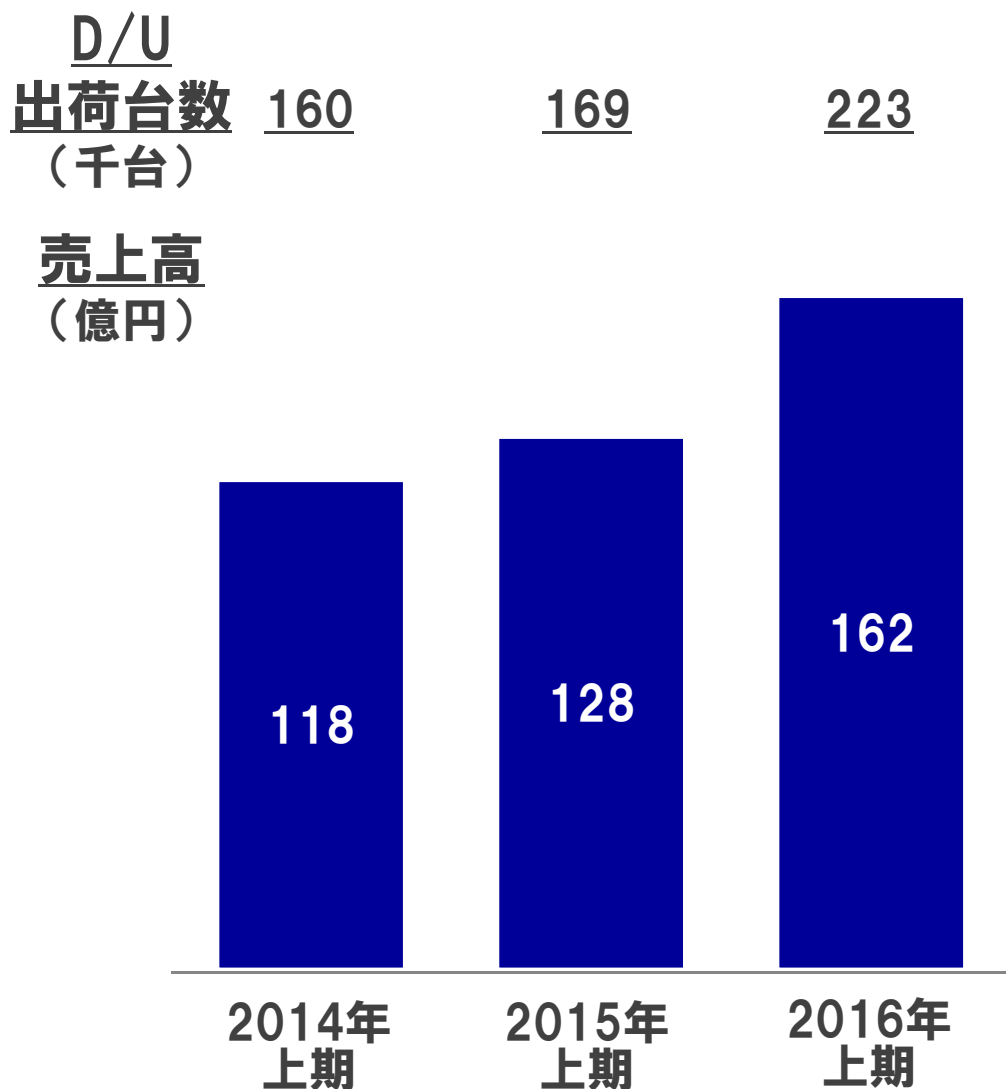


成長戦略：PAS



お客様を広げる

- 国内：シニア・ファミリー層から若者層へ
- 海外：欧州市場でプレゼンス高まる、米国市場へ進出



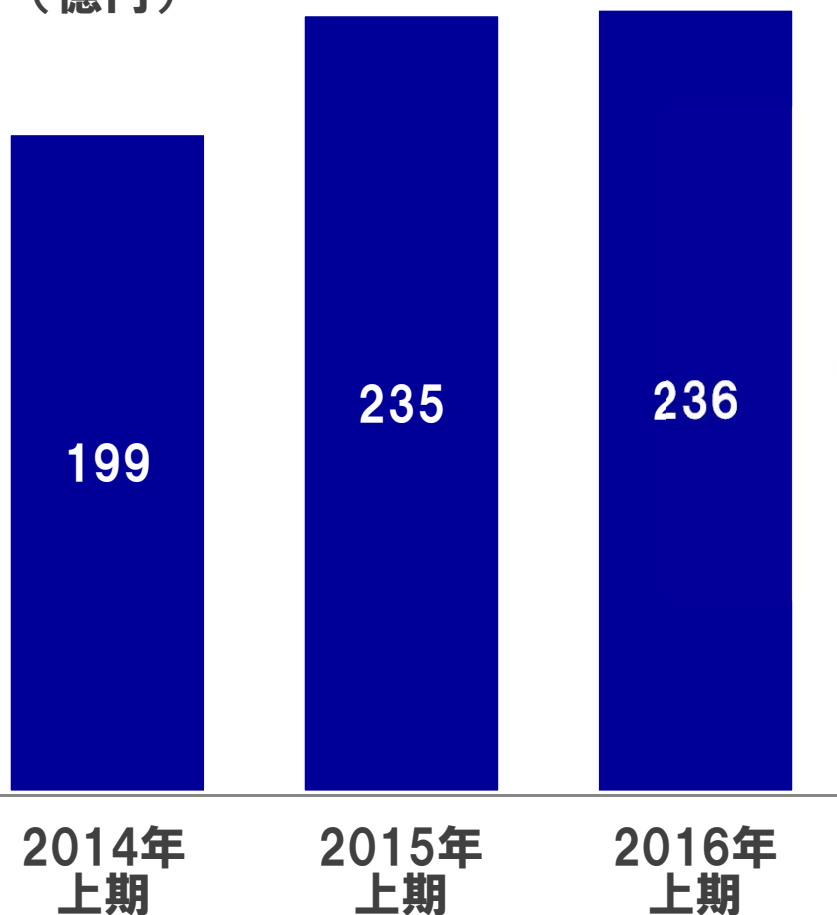
成長戦略：IM

お客様を広げる、つながるソリューションビジネスへ

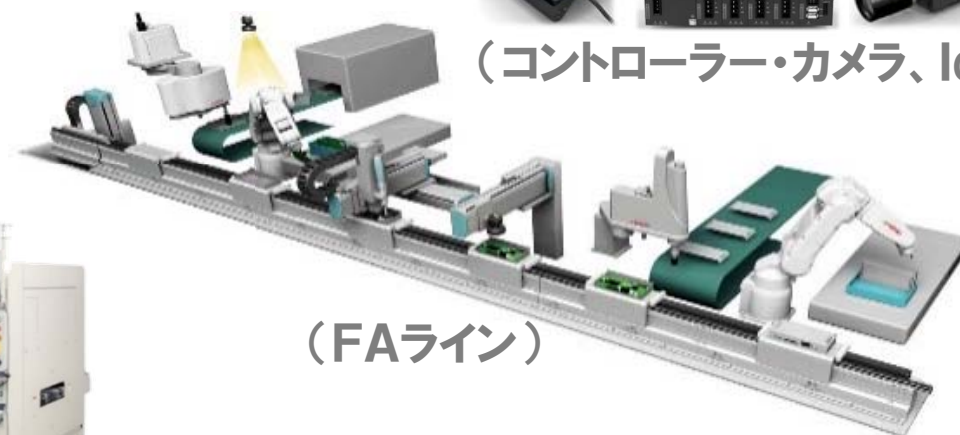
■表面実装機：多機能領域から圧倒的な高速領域へ

■ロボット：FA市場で業界初・唯一のトータルソリューションを提供する

売上高
(億円)



(コントローラー・カメラ、IoT)



(FAライン)

統合制御型ロボットシステム



Z:TA-R

世界最高性能

- ・生産性：200KCPH
- ・ライン長生産性：200KCPH/m
- ・面積生産性：95KCPH/m²



YAMAHA

Revs Your Heart

主要商品別 総需要・当社出荷台数

台数単位:千台

	総需要（当社推定）		
	14年実績	15年実績	16年予想
日本	450	407	373
北米	539	559	561
欧州	1,515	1,525	1,590
インドネシア	7,686	6,465	5,500
タイ	1,696	1,677	1,700
インド	15,996	16,089	17,500
ベトナム	2,711	2,849	2,991
台湾	666	706	795
中国	10,655	9,080	8,056
その他	4,395	4,070	5,091
アジア計	43,805	40,937	41,632
ブラジル	1,430	1,208	966
その他	7,931	8,000	6,798
その他計	9,360	9,209	7,764
二輪車計	55,669	52,637	51,921
船外機	808	742	701
ATV	436	435	431

	ヤマハ発動機 出荷台数		
	14年実績	15年実績	16年予想
日本	123	110	107
北米	79	89	79
欧州	191	209	213
インドネシア	2,371	1,799	1,400
タイ	223	225	241
インド	567	595	806
ベトナム	643	719	811
台湾	210	226	256
中国	445	307	271
その他	359	415	492
アジア計	4,819	4,286	4,279
ブラジル	181	131	109
その他	406	393	368
その他計	587	524	477
二輪車計	5,799	5,218	5,154
船外機	329	300	291
ATV	53	55	57

事業別 売上高・営業利益（上期）

売上高（億円）

	上期		年間	
	15年実績	16年実績	15年実績	16年予想
二輪車	5,271	4,775	10,326	9,200
マリン	1,717	1,703	3,093	2,900
特機	706	698	1,695	1,600
その他	593	608	1,198	1,300
合計	8,287	7,783	16,312	15,000

営業利益（億円）

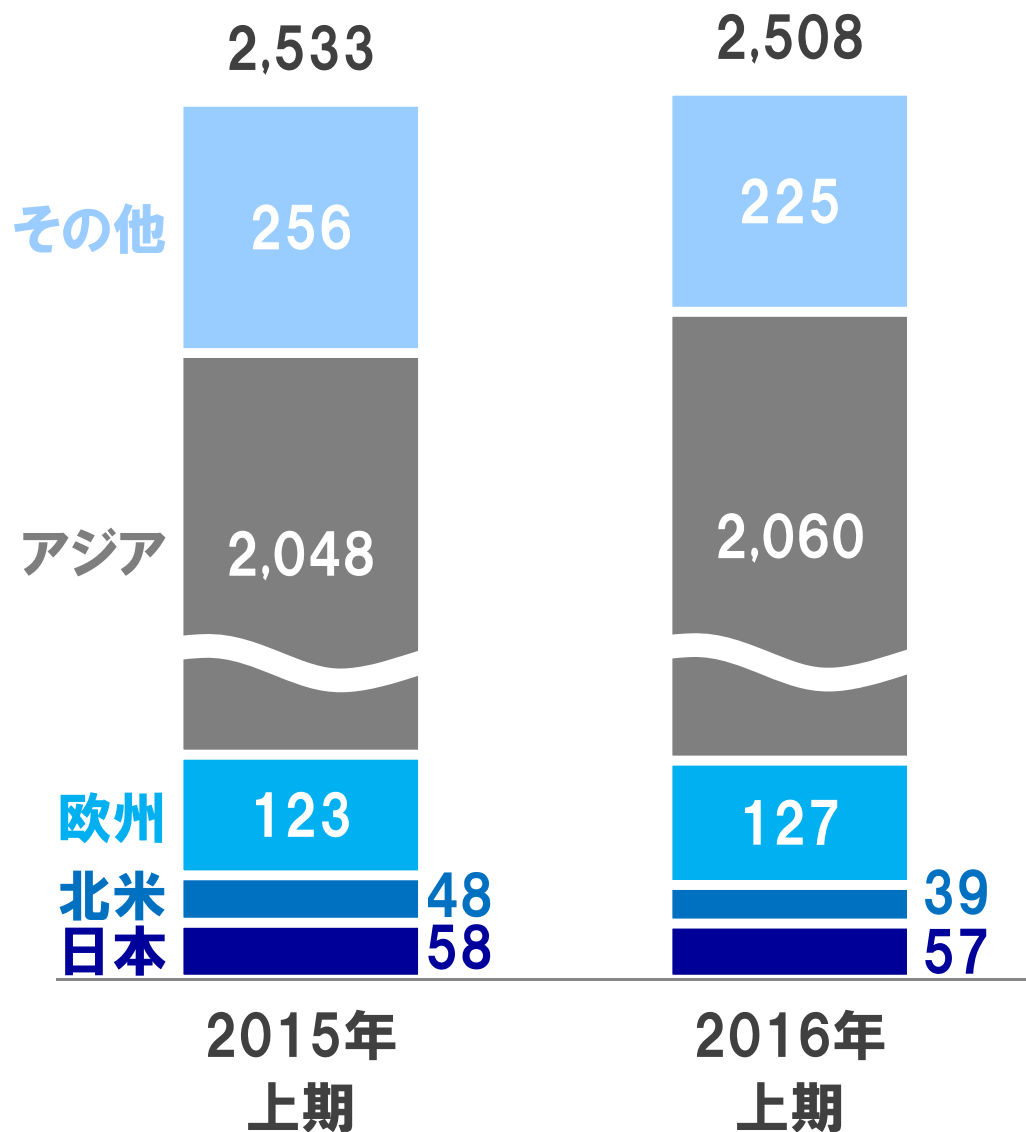
二輪車	221	181	391	310
マリン	407	383	640	520
特機	53	27	160	100
その他	53	64	112	120
合計	733	654	1,303	1,050

営業利益率（％）

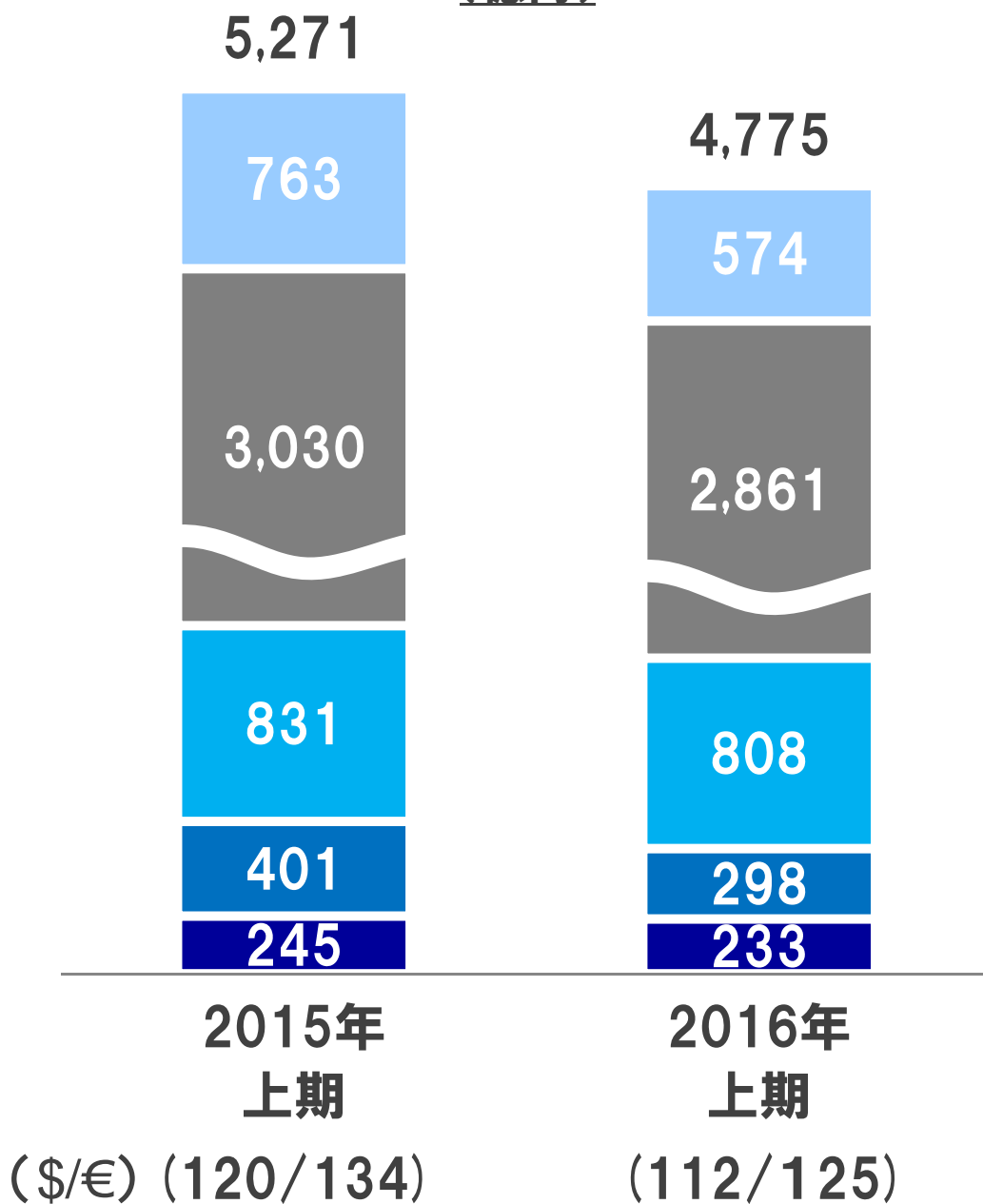
二輪車	4.2	3.8	3.8	3.4
マリン	23.7	22.5	20.7	17.9
特機	7.5	3.8	9.4	6.3
その他	9.0	10.5	9.4	9.2
合計	8.8	8.4	8.0	7.0

二輪車販売台数・売上高（上期）

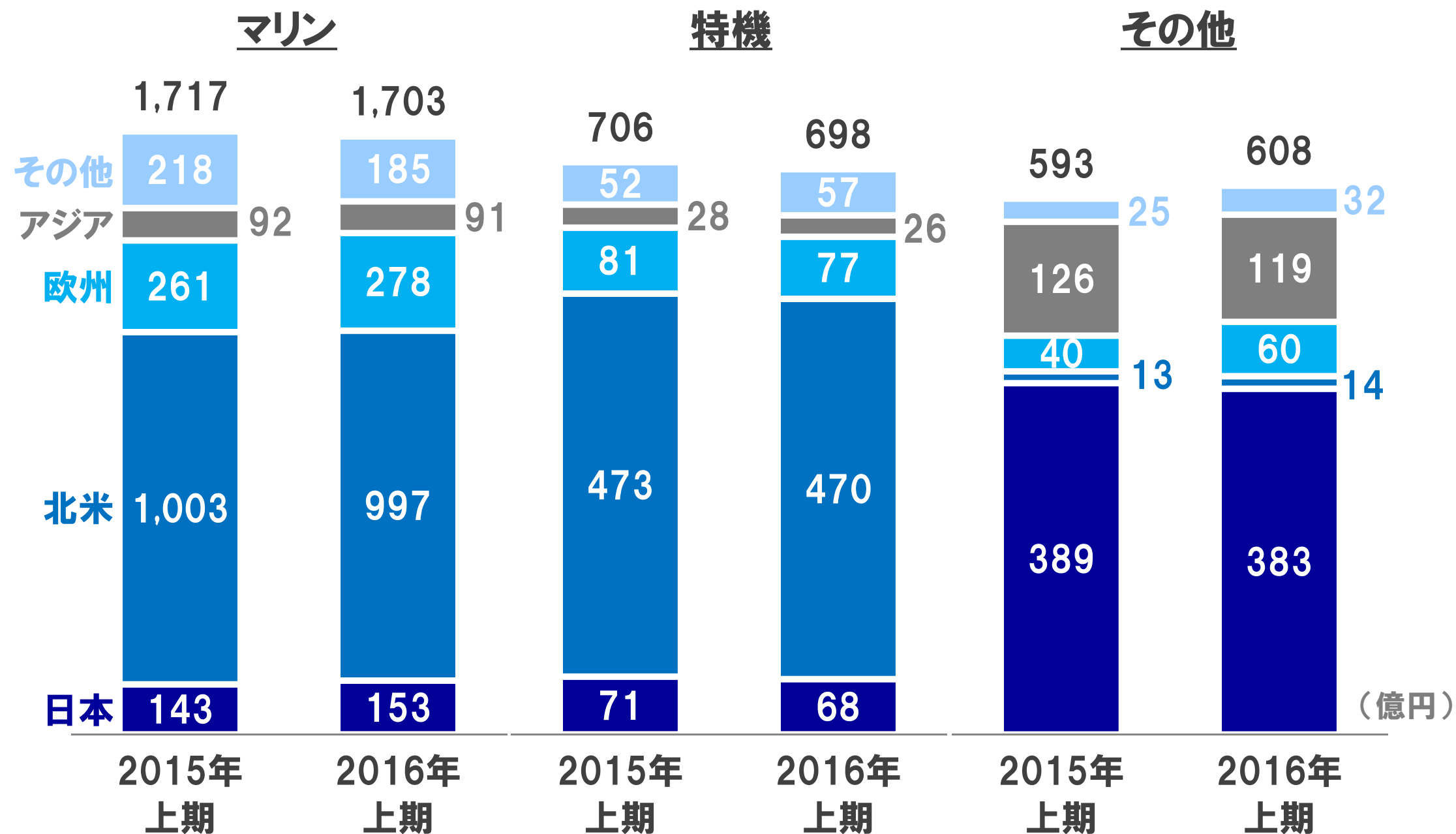
出荷台数
(千台)



売上高
(億円)



マリン・特機・その他 売上高（上期）



(\$/€)(120/134) (112/125)

設備投資・減価償却費・研究開発費・有利子負債

(億円)

	15年上期 実績	16年上期 実績
設備投資	271	228
減価償却費	219	213
研究開発費	443	470
有利子負債	3,987	3,409
(うち販売金融分)	2,052	1,854

為替影響（対前年）

（億円）	16年 実績(上期)				16年予想(年間)			
	US\$	EURO	その他	合計	US\$	EURO	その他	合計
本社の輸出入にかかる為替影響	△58	△31	△1	△89	△202	△89	1	△290
為替による仕入影響（海外子会社）	0	0	△75	△75	0	0	△89	△89
粗利益の換算影響（海外子会社）	△32	△17	△113	△162	△95	△47	△255	△397
販管費の換算影響（海外子会社）	18	11	81	111	71	40	171	283
営業利益への為替影響	△71	△36	△108	△215	△226	△96	△172	△493

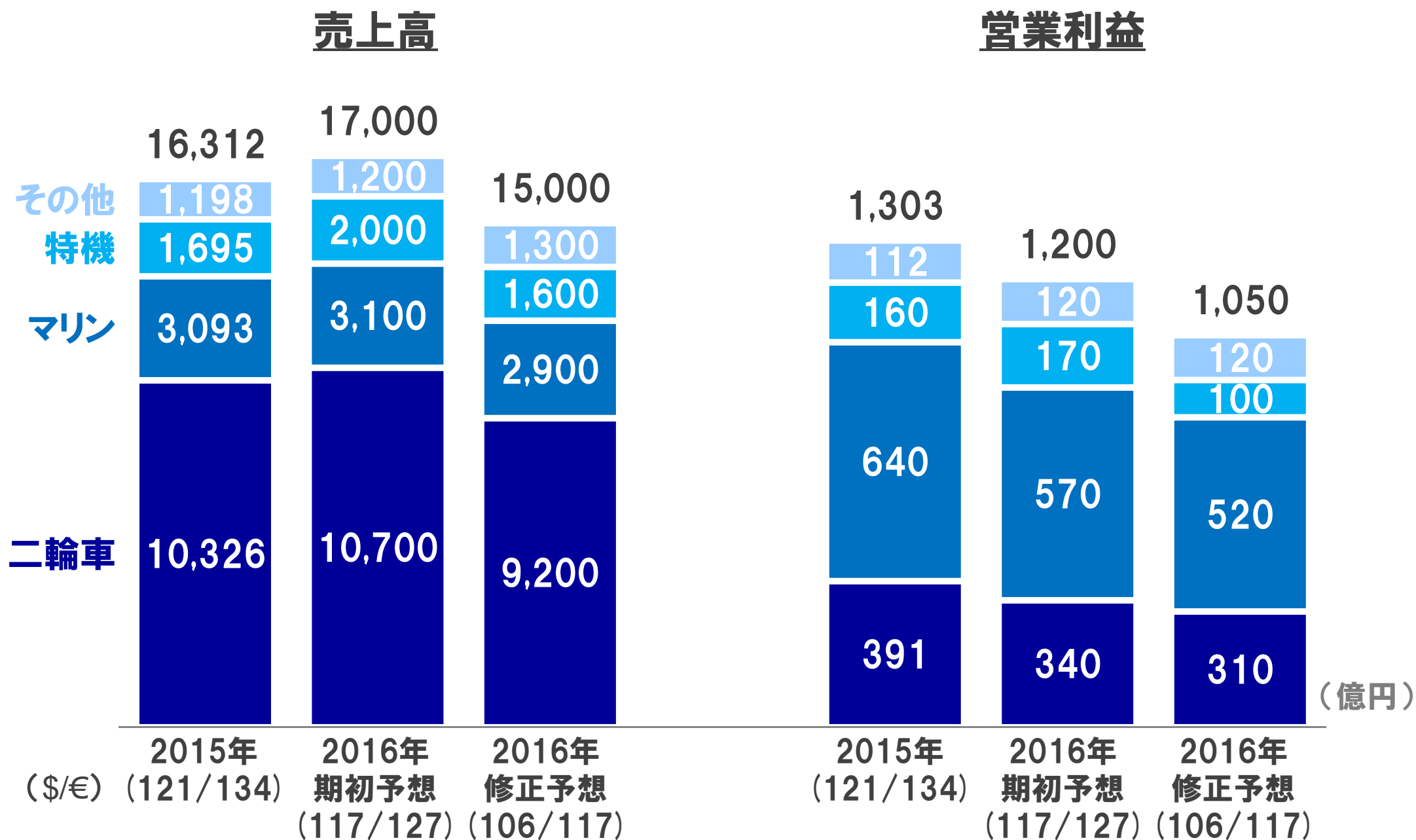
為替感応度

1円の変動が営業利益
に与える影響額

US\$ 7億円
EURO 3億円

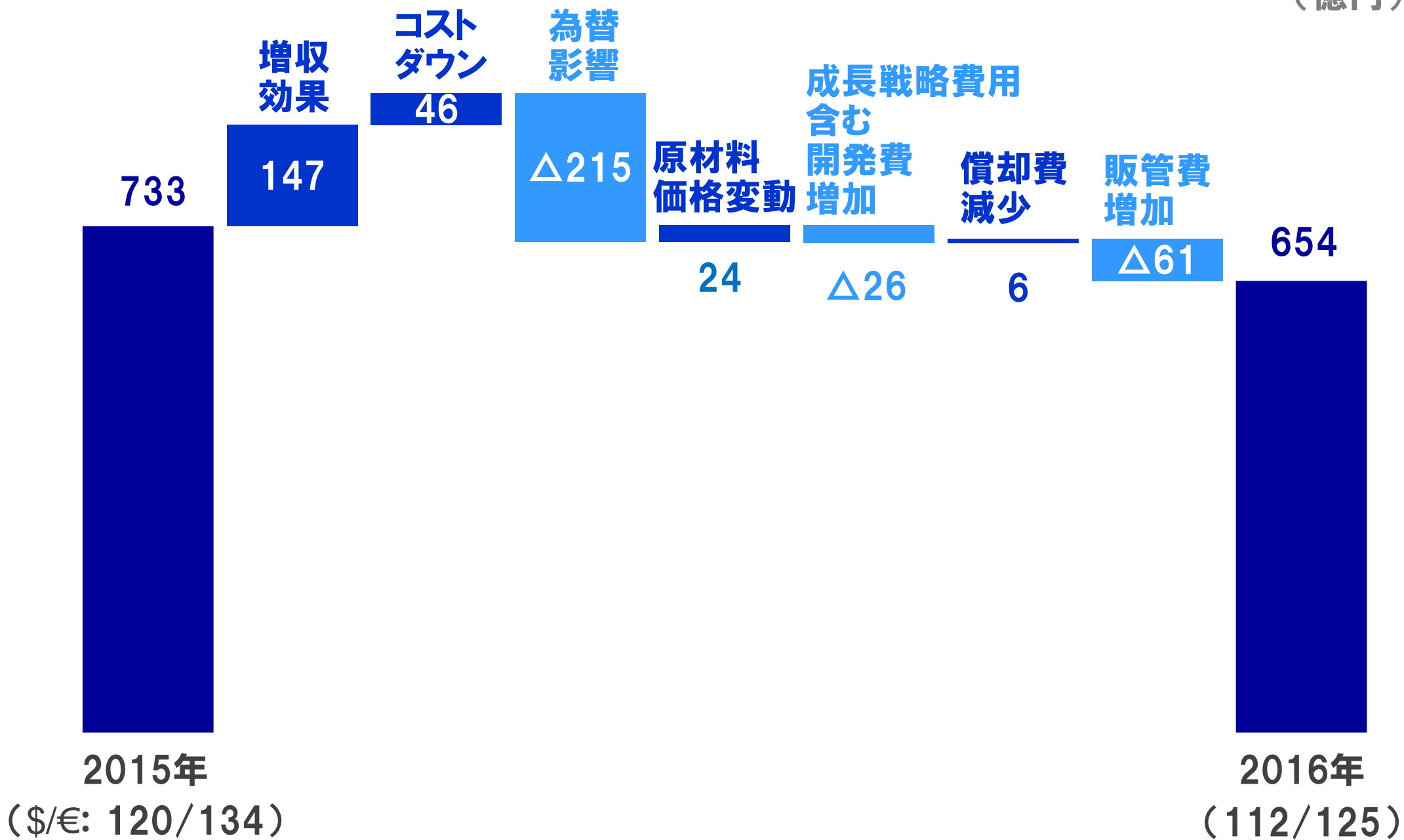
US\$ 14億円
EURO 6億円

事業別 売上高・営業利益（年間予想）



営業利益変動要因（上期）

（億円）



営業利益変動要因（年間予想）

（億円）

